



晩生カンキツ新品種「瑞季」^{みずき}

爽やかなブタンの風味で、種子が少なくカットフルーツに向く、食べ易いカンキツ新品種を開発しました。カンキツが品薄となる4月中旬以降が食べ頃となります。

由来

- 「水晶文旦」に「サザンイエロー」（「谷川文旦」×「無核紀州」）を交配して育成した交雑品種です。
- 広島県と国立大学法人京都大学が共同で育成し、令和元年11月20日に品種登録（第27604号）となりました。

特性

- 樹勢は八朔と同程度です（図1）。
- 果実は短いネックを生じ、400～500g程度で、鮮やかな黄色です（図2）。
- 4月中旬から5月下旬頃が食べ頃です（表1）。
- 糖度が高く食味が良く、食べやすい品種です（表1）。
- 種子が極めて少なく、果肉が柔らかくて果汁が多いので、スマイルカット（図3）あるいは赤道部でカットしてスプーンですくって食べるのに適します。
- 果皮はサクサクとした食感で甘味があり、果肉と一緒に食べることもできます。



図1 「瑞季」の樹体



図2 「瑞季」の果実



図3 スマイルカットにした「瑞季」

表1 「瑞季」の果実特性

品種名	果実重 (g)	完全種子数 (個)	糖度 (°Brix)	クエン酸含量 (%)	糖酸比
瑞季	503.9	2.0	12.4	1.11	11.2
河内晩柑	328.0	66.2	10.7	1.34	8.0

※栽培地点は広島総研農技C果樹研究部（東広島市安芸津町）
※2019年3月7日収穫，4月15日分析（常温貯蔵）

*本研究の一部は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」（JPJ007097）の支援を受けて行った。